

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	講読演習 I	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標 社会人としてのマナーとルールを理解し、スポーツ現場で行動できるようになる。							
講 義 内 容	1	オリエンテーション					
	2	オリエンテーション					
	3	社会人マナーとルール					
	4	社会人マナーとルール					
	5	学生生活について					
	6	学生生活について					
	7	コミュニケーション					
	8	コミュニケーション					
	9	トレーナー試験対策					
	10	トレーナー試験対策					
	11	資格試験対策					
	12	資格試験対策					
	13	プレゼンテーション実技					
	14	プレゼンテーション実技					
	15	スポーツ活動振返り					

評価方法	課題や受講態度も加え評価する。		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所

単 位 認 定

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	イベントプランニング演習 I	学年	1	単位数	1	コマ数	15
<p>教科目標</p> <p>各種大会・イベントサポートに参加しコミュニケーション能力を発揮できるようになる。</p>							
講 義 内 容	1	スポーツレーニング実技					
	2	スポーツレーニング実技					
	3	マラソン大会サポート					
	4	マラソン大会サポート					
	5	マラソン大会サポート					
	6	マラソン大会サポート					
	7	スポーツイベントサポート					
	8	スポーツイベントサポート					
	9	スポーツイベントサポート					
	10	スポーツイベントサポート					
	11	陸上大会サポート					
	12	陸上大会サポート					
	13	陸上大会サポート					
	14	陸上大会サポート					
	15	サポート活動振り返り					

評価方法	課題や受講態度も加え評価する。		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単 位 認 定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	解剖演習	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標 人体の組織・器官・筋・骨格系の形態と機能を説明できるようになる。							
講 義 内 容	1	総論					
	2	総論					
	3	皮膚の構造					
	4	上肢・下肢					
	5	呼吸循環器					
	6	血液・免疫・リンパ					
	7	消化器					
	8	消化器					
	9	脳神経					
	10	頭部・皮膚					
	11	感覚器					
	12	感覚器②					
	13	泌尿生殖器					
	14	内分泌系					
	15	まとめ					

評価方法		課題や終講時試験で評価する。		
評 価 基 準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	}	単位 認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	ぜんぶわかる人体解剖図		成美堂出版	

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	データ分析演習	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標 Dartfishを使用した動作分析、試合分析とExcel、Word、Power pointの操作、活用でプレゼンテーションができるようになる。							
講 義 内 容	1	Dartfishアプリでお手軽分析&Dartfish Software一般機能					
	2	動作分析 ①(ライブ映像の録画方法とフィードバック)					
	3	動作分析 ②(映像を別の視点で見る)					
	4	動作分析 ③(基本分析方法とトラッキング分析)					
	5	試合分析 ①(試合のハイライトシーンを抽出)					
	6	試合分析 ②(試合のハイライトシーンを抽出)					
	7	試合分析 ③(ハイライト映像を作成)					
	8	まとめ					
	9	Word					
	10	Word					
	11	Excel					
	12	Excel					
	13	企画書、広告作成					
	14	プレゼンテーション					
	15	プレゼンテーション					

評価方法	課題や終講時試験で評価する。						
評 価 基 準	(新 G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。				} 単 位 認 定	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。					
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所				

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	トレーニング科学	学年	1	単位数	2	コマ数	15
教科目標 あらゆる対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムの作成と指導について理解する。							
講 義 内 容	1	トレーニング総論					
	2	筋力トレーニングの効果とプログラム作成					
	3	パワー向上トレーニングの理論とプログラム作成					
	4	持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成					
	5	スピード向上トレーニングの理論とプログラムの作成					
	6	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウンの理論とプログラムの作成					
	7	特別な対象のためのトレーニングプログラム					
	8	傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラムの作成					
	9	筋力トレーニングの実際					
	10	パワー向上トレーニングの実際					
	11	持久力向上トレーニングの実際					
	12	スピード向上トレーニングの実際					
	13	柔軟性トレーニング及びウォームアップの実際					
	14	トレーニング効果の測定と評価の実際					
	15	測定データの活用とフィードバックの実際					
	16						

評価方法	課題や終講時試験で評価する。						
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。				}	単位
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。					
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
参 考 図 書	書籍名	著者名			発行所		
	リファレンスブック					日本スポーツ協会	

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	スポーツ社会学	学年	1	単位数	1	コマ数	8
教科目標 スポーツとは何かスポーツ観やスポーツ規範の重要性について学習し、スポーツの法的責任を理解する。							
講 義 内 容	1	スポーツの意義と価値					
	2	社会の中におけるスポーツの価値					
	3	文化としてのスポーツ					
	4	スポーツの価値を守るスポーツ権					
	5	スポーツの自治—ガバナンスとコンプライアンス—					
	6	暴力・ハラスメントの根絶					
	7	スポーツのイングリティ					
	8	スポーツ指導者の法的責任					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						

評価方法		課題や終講時試験で評価する。		
評 価 基 準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	
	リファレンスブック		日本スポーツ協会	

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	スポーツコーチング I	学年	1	単位数	1	コマ数	8
教科目標							
グッドコーチに必要なスキル、知識について学び、コーチとしての役割を理解する。							
講 義 内 容	1	コーチングとは					
	2	コーチに求められる役割					
	3	コーチに求められる知識とスキル					
	4	対他者力を磨こう(コミュニケーションスキル)					
	5	対他者力を磨こう(リーダーシップスキル)					
	6	対他者力を磨こう(プレゼンテーションスキル)					
	7	対他者力を磨こう(ファシリテーションスキル)					
	8	対自己力を磨こう					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						

評価方法	定期的実施するレポート課題で評価する。							
評 価 基 準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。						単 位 認 定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。						
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。						
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。						
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。						
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名			発行所			
	リファレンスブック					日本スポーツ協会		

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	スポーツコーチングⅡ	学年	1	単位数	2	コマ数	15
教科目標 グッドコーチに必要なスキル、知識について学び、コーチとしての役割を理解した上で、自ら考えることができる。							
講 義 内 容	1	スポーツ仲裁					
	2	スポーツ倫理					
	3	時代をリードするコーチング					
	4	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系					
	5	トレーニング目標論・手段・方法論					
	6	トレーニング計画論、試合行動論					
	7	トレーニングアセスメント					
	8	トレーニングと休養のバランス					
	9	コーチング環境の特徴					
	10	コーチング環境の特徴					
	11	ハイパフォーマンスにおけるコーチング					
	12	スポーツ組織のマネジメント					
	13	スポーツ組織のマネジメント					
	14	障がい者とスポーツ					
	15	障がい者とスポーツ					
	16						

評価方法	定期的実施するレポート課題で評価する。							
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。						単 位 認 定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。						
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。						
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。						
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。						
参 考 図 書	書籍名	著者名			発行所			
	リファレンスブック					日本スポーツ協会		

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	スポーツ栄養学 I	学年	1	単位数	1	コマ数	8
教科目標 1) 栄養とスポーツに関する基本的な科学的理論を理解し説明できる 2) スポーツ活動におけるのコンディション調整・からだ作りなどのための栄養・食事管理を理解し説明できる 3) スポーツ栄養学に興味を持ち、わからない内容について、様々な資料を調べ自分なりに考えることができる							
講 義 内 容	1	ガイダンス、栄養学およびスポーツ栄養学の基礎					
	2	身体活動とエネルギー代謝					
	3	身体活動と糖質およびたんぱく質					
	4	スポーツ選手の身体的特徴、ウェイトコントロールと栄養					
	5	アスリートの栄養に関連する諸問題					
	6	女性アスリートと栄養					
	7	ジュニア期および高齢期の身体活動と栄養					
	8	コンディショニングと栄養・食事					
	9	スポーツ現場と栄養士、授業のまとめ					
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						

評価方法		定期的実施するレポート課題で評価する。					
評 価 基 準	新 評 価 A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。					
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。					
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
参 考 図 書	書籍名		著者名		発行所		
	リファレンスブック				日本スポーツ協会		
	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト9				日本スポーツ協会		

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	スポーツ心理学 I	学年	1	単位数	2	コマ数	15
教科目標 スポーツへの動機づけやコーチングの評価などの原理・原則から具体的な方法論までを学ぶ。							
講 義 内 容	1	スポーツと心					
	2	スポーツにおける動機づけ					
	3	コーチング心理(1)					
	4	コーチング心理(2)					
	5	運動と心理に関する基礎					
	6	個別指導の動機付け					
	7	カウンセリング法(1)					
	8	カウンセリング法(2)					
	9	メンタルマネジメント					
	10	メンタルトレーニングとは					
	11	リラクゼーショントレーニングとは					
	12	イメージトレーニングとは					
	13	集中カトレニングとは					
	14	心理的コンディショニングとは					
	15	指導者のメンタルマネジメント					
	16						

評価方法	課題や終講時試験で評価する。		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
参 考 図 書 及 び 教 科 書	書籍名	著者名	発行所
	リファレンスブック		日本スポーツ協会
	資格に役立つスポーツ心理学ワークブック 改訂版		吉田 聡美
	基礎から学ぶスポーツ心理学(改訂版)		吉田 聡美

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	スポーツ医学 I	学年	1	単位数	1	コマ数	8
教科目標 運動障害と予防・応急処置を理解し、発育発達期のケガやスポーツ現場で起こりうる外傷・障害を理解する。							
講 義 内 容	1	身体のしくみと働き					
	2	呼吸循環器系の働きとエネルギー供給					
	3	スポーツと健康					
	4	アスリートの健康管理					
	5	アスリートの内科的障害と対策					
	6	アスリートの外傷・障害と対策					
	7	スポーツによる精神障害と対策					
	8	まとめ					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						

評価方法		課題や終講時試験で評価する。		
評価 基準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書 参考図書	書籍名	著者名	発行所	
	リファレンスブック		日本スポーツ協会	

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	スポーツ医学Ⅱ	学年	1	単位数	1	コマ数	8
教科目標 運動障害と予防・応急処置を理解し、発育発達期のケガやスポーツ現場で起こりうる外傷・障害を理解する。							
講 義 内 容	1	コンディショニングの手法					
	2	アンチ・ドーピング					
	3	世界アンチ・ドーピング機構および日本アンチ・ドーピング機構について					
	4	ドーピングコントロールの全体像とドーピング検査					
	5	救急処置					
	6	救急処置と蘇生法実習(1)					
	7	救急処置と蘇生法実習(2)					
	8	まとめ					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						

評価方法		終講時試験で評価する。						
評 価 基 準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。						
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。						
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。						
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。						
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。						
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名			発行所			
	リファレンスブック					日本スポーツ協会		

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	スポーツ医学Ⅲ	学年	1	単位数	2	コマ数	15
教科目標 アスリートにみられる内臓器官などの疾患、病的現象を理解し予防・対応策を学ぶ							
講 義 内 容	1	循環器系・呼吸器系疾患について学ぶ					
	2	消化器系・血液疾患について学ぶ					
	3	腎・泌尿器・代謝性疾患について学ぶ					
	4	呼吸器・血液感染症について学ぶ					
	5	皮膚疾患・感染症について学ぶ					
	6	ウイルス・環境変化の感染症について学ぶ					
	7	オーバートレーニング症候群と過換気症候群について学ぶ					
	8	摂食障害と減量による障害について学ぶ					
	9	突然死と喫煙・飲酒の問題点について学ぶ					
	10	特殊環境、環境の変化が身体に与える影響を学ぶ					
	11	海外遠征時、時差の諸問題について学ぶ					
	12	女性、成長期のスポーツ医学を学ぶ					
	13	メディカルチェックの有効性と必要性について学ぶ					
	14	ドーピングについて理解して抑止に貢献する					
	15	まとめ					
	16						

評価方法		課題や終講時試験で評価する。	
評 価 基 準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単位
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	リファレンスブック		日本スポーツ協会

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	スポーツ外傷・障害 I	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標 体幹・下肢のスポーツ外傷・障害について病態、発生機転、診断方法、徒手検査について理解・取得する。							
講 義 内 容	1	体幹のスポーツ外傷・障害について					
	2	体幹のスポーツ外傷・障害についての病態を学ぶ					
	3	体幹のスポーツ外傷・障害についての発生機転を学ぶ					
	4	体幹のスポーツ外傷・障害についての診断方法を学ぶ					
	5	体幹のスポーツ外傷・障害についての画像診断を学ぶ					
	6	体幹のスポーツ外傷・障害についての徒手検査を学ぶ					
	7	体幹のスポーツ外傷・障害についての復習					
	8	下肢のスポーツ外傷・障害について					
	9	下肢のスポーツ外傷・障害についての病態を学ぶ					
	10	下肢のスポーツ外傷・障害についての発生機転を学ぶ					
	11	下肢のスポーツ外傷・障害についての診断方法を学ぶ					
	12	下肢のスポーツ外傷・障害についての画像診断を学ぶ					
	13	下肢のスポーツ外傷・障害についての徒手検査を学ぶ					
	14	下肢のスポーツ外傷・障害についての復習					
	15	まとめ					
	16						

評価方法		課題や終講時試験で評価する。	
評 価 基 準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト3		日本スポーツ協会

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	トレーナー概論・演習	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標 アスリートのコンディショニングを統合的な視点を持ってサポートする正しい知識や優れた技術を習得するための意義を理解する。							
講 義 内 容	1	アスレティックトレーナーの歴史					
	2	アスレティックトレーナー制度					
	3	アスレティックトレーナーの任務と役割					
	4	アスレティックトレーナーの業務①					
	5	アスレティックトレーナーの業務②					
	6	アスレティックトレーナーの活動①					
	7	アスレティックトレーナーの活動②					
	8	アスレティックトレーナーの活動③					
	9	医科学スタッフの構成と役割					
	10	スポーツドクター、コーチとの連携・協力					
	11	アスレティックトレーナーの組織と運営					
	12	競技者のコンディショニングに関するデータの管理					
	13	アスレティックトレーナーの立場と倫理					
	14	アスレティックトレーナーと法的諸問題					
	15	まとめ					
	16						

評価方法		課題や終講時試験で評価する。					
評 価 基 準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。					
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。					
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
参 考 図 書	書籍名		著者名		発行所		
	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト1				日本スポーツ協会		

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	救急処置	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標 救急処置の目的と意義を十分に理解した上で、基本的な救急処置をしっかりと習得し、アスレティックトレーナーの役割を理解する。							
講 義 内 容	1	救急処置の基本とスポーツ現場における救急処置の意義・目的を理解する					
	2	外傷時の救急処置(皮膚のけがが無い)の理解と実践					
	3	外傷時の救急処置(皮膚のけがが有る)の理解と実践					
	4	特殊な外傷の救急処置の理解と実践①					
	5	特殊な外傷の救急処置の理解と実践②					
	6	スポーツ外傷の患部固定と運搬法の理解と実践					
	7	緊急時の救急処置への理解と実践①(心肺蘇生法)					
	8	緊急時の救急処置への理解と実践②(心肺蘇生法)					
	9	緊急時の救急処置への理解と実践①(頭頸部・脊椎外傷)					
	10	緊急時の救急処置への理解と実践②(頭頸部・脊椎外傷)					
	11	内科的疾患の救急処置の理解と実践(暑熱・寒冷・過換気)					
	12	内科的疾患の救急処置の理解と実践(ショック・その他)					
	13	救急体制の重要性と事故発生時のフローチャートについて理解する					
	14	現場の実例に関連する救急処置機材、用品の知識と利用法を理解する					
	15	救急処置法実践においての総合的な習熟度を試験する					
	16						

評価方法	中間試験や終講時試験で評価する。		
評 価 基 準	新 評 価 A (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単 位 認 定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト8		日本スポーツ協会
	リファレンスブック		日本スポーツ協会

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	発育発達学	学年	1	単位数	1	コマ数	8
教科目標 子どもの発育発達特性を知り、スポーツ活動・運動が子どもの心身に与えるさまざまな影響とケガや病気を正しく理解する。そのうえで発育ステージに応じたプログラムづくりを学ぶ。							
講 義 内 容	1	ジュニア期のコーチングの留意点					
	2	年齢区分からみたコーチングの留意点					
	3	トレーニングの至適年齢・遺伝の影響					
	4	概論					
	5	コーチング					
	6	体力					
	7	動きの発達					
	8	心理、スポーツ医学					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						

評価方法		課題や終講時試験で評価する。		
評価 基準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		単位 認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教科書 参考 図書	書籍名	著者名	発行所	
	リファレンスブック		日本スポーツ協会	

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	機能解剖学	学年	1	単位数	4	コマ数	30
教科目標 人体の各部位の基礎解剖学と運動について理解し、運動時に関与する骨、筋、関節、靭帯、神経支配を同定できるようになる。							
講 義 内 容	1	人体の構造と機能を理解する					
	2	頸部、腰、背部の靭帯、関節の構造と機能について学ぶ					
	3	頸部、腰、背部の関節の運動について学ぶ					
	4	頸部、腰、背部の運動時に作用する筋、神経支配について学ぶ					
	5	頸部、腰、背部の体表解剖について学ぶ					
	6	肩・上腕の靭帯、関節の構造と機能について学ぶ					
	7	肩・上腕の関節の運動について学ぶ					
	8	肩、上腕の運動時に作用する筋、神経支配について学ぶ					
	9	肩、上腕の体表解剖について学ぶ					
	10	肘、前腕、手、指の靭帯、関節の構造と機能について学ぶ					
	11	肘、前腕、手、指の関節の運動について学ぶ					
	12	肘、前腕、手、指の運動時に作用する筋、神経支配について学ぶ					
	13	肘、前腕、手、指の体表解剖について学ぶ					
	14	股関節、大腿の靭帯、関節の構造と機能について学ぶ					
	15	股関節、大腿の関節の運動について学ぶ					
	16	股関節、大腿の運動時に作用する筋、神経支配について学ぶ					
	17	股関節、大腿の体表解剖について学ぶ					
	18	下腿、足関節、足、指の靭帯、関節の構造と機能について学ぶ					
	19	下腿、足関節、足、指の関節の運動について学ぶ					
	20	下腿、足関節、足、指の運動時に作用する筋、神経支配について学ぶ					
	21	下腿、足関節、足、指の体表解剖について学ぶ					
	22	膝の靭帯、関節の構造と機能について学ぶ					
	23	膝の関節の運動について学ぶ					
	24	膝の運動時に作用する筋、神経支配について学ぶ					
	25	膝の体表解剖について学ぶ					
	26	外傷発生の機転となる歩行メカニズムについて学ぶ					
	27	外傷発生の機転となる走行メカニズムについて学ぶ					
	28	外傷発生の機転となる跳動作メカニズムについて学ぶ					
	29	外傷発生の機転となる投動作メカニズムについて学ぶ					
	30	まとめ					

評価方法	課題や終講時試験で評価する。		
評 価 基 準	新 G P A 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単 位 認 定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト2		日本スポーツ協会
	改訂版 身体運動の機能解剖		医道の日本社

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	運動生理学	学年	1	単位数	4	コマ数	30
教科目標 神経、筋、骨の機能と呼吸循環器の機能を理解した上で、疲労の原因トレーニング効果を習得する。							
講 義 内 容	1	筋収縮とエネルギー供給系について学ぶ①					
	2	筋収縮とエネルギー供給系について学ぶ②					
	3	筋線維の種類とその特徴について学ぶ①					
	4	筋線維の種類とその特徴について学ぶ②					
	5	神経系の役割について学ぶ①					
	6	神経系の役割について学ぶ②					
	7	筋の収縮様式と筋力について学ぶ①					
	8	筋の収縮様式と筋力について学ぶ②					
	9	運動と循環について学ぶ①					
	10	運動と循環について学ぶ②					
	11	運動と呼吸について学ぶ①					
	12	運動と呼吸について学ぶ②					
	13	運動とホルモンについて学ぶ①					
	14	運動とホルモンについて学ぶ②					
	15	まとめ①					
	16	身体組成と肥満について学ぶ①					
	17	身体組成と肥満について学ぶ②					
	18	運動処方について学ぶ①					
	19	運動処方について学ぶ②					
	20	運動と生活習慣病について学ぶ①					
	21	運動と生活習慣病について学ぶ②					
	22	運動と体温調節について学ぶ①					
	23	運動と体温調節について学ぶ②					
	24	筋疲労の要因について学ぶ①					
	25	筋疲労の要因について学ぶ②					
	26	老化に伴う身体機能の変化について学ぶ①					
	27	老化に伴う身体機能の変化について学ぶ②					
	28	運動と栄養について学ぶ①					
	29	運動と栄養について学ぶ②					
	30	まとめ②					

評価方法	課題や終講時試験で評価する。		
評 価 基 準	新 G P A 新 評 価	A (90点以上): 教科目標を高い水準で達成している。	単 位 認 定
		B (80～89点): 教科目標達成において優れている。	
		C (70～79点): 教科目標において一定の水準に達している。	
		D (60～69点): 教科目標において最低限の水準に達している。	
		F (59点以下または不合格): 教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	入門運動生理学 第4版		杏林書院

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	バイオメカニクス I	学年	1	単位数	1	コマ数	8
教科目標							
人の動きを理解するための力学の基礎を理解する。							
講 義 内 容	1	力の合成と分解について学ぶ					
	2	生体におけるテコの原理について学ぶ					
	3	重心の求め方について学ぶ					
	4	重心の速度・加速度について学ぶ					
	5	床反力と重心加速度について学ぶ					
	6	床反力作用(COP)とは何かについて学ぶ					
	7	関節モーメントの筋活動について学ぶ					
	8	まとめ					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						

評価方法	課題や終講時試験で評価する。						
評 価 基 準	(G P A 新 評 価)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。				単 位 認 定	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。					
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名			発行所		
	基礎バイオメカニクス第2版				医歯薬出版		

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	検査・測定と評価 I	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標 アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法およびスポーツ動作の観察と分析力を習得する。							
講 義 内 容	1	機能評価のプロセスと評価に必要な検査測定を理解する					
	2	機能評価に基づく目標設定とプログラムの立案を理解する					
	3	姿勢・身体アライメント・筋萎縮の観察と計測を理解する					
	4	関節弛緩性検査の目的と意義及び検査方法を理解する					
	5	測定方法の実際(関節可動域測定①)					
	6	測定方法の実際(関節可動域測定②)					
	7	測定方法の実際(関節可動域測定③)					
	8	測定方法の実際(関節可動域測定④)					
	9	筋タイトネスの検査測定方法を理解する					
	10	徒手筋力検査の目的と意義および計測方法を理解する					
	11	測定方法の実際(徒手筋力検査①)					
	12	測定方法の実際(徒手筋力検査②)					
	13	測定方法の実際(徒手筋力検査③)					
	14	測定方法の実際(徒手筋力検査④)					
	15	まとめ					
	16						

評価方法		課題や終講時試験で評価する。					
評 価 基 準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。					
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。					
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
参 考 図 書	書籍名		著者名		発行所		
	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5				日本スポーツ協会		

単 位 認 定

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	テーピング I	学年	1	単位数	2	コマ数	30
教科目標 アスレティックトレーナーとして競技者のパフォーマンスを安定させるためにも外傷予防、応急処置、再発予防に備えた身体各部のテーピングの知識と技術を習得する。							
講 義 内 容	1	テーピングの定義と目的を理解する					
	2	テーピングを実施する際の準備と注意事項を理解する①					
	3	テーピングを実施する際の準備と注意事項を理解する②					
	4	アーチテーピング1の注意事項の理解と技術を習得する					
	5	アーチテーピング2の注意事項の理解と技術を習得する					
	6	母趾・踵部のテーピングの注意事項の理解と技術を習得する					
	7	足関節捻挫に対するテーピング(基本のテーピング)技術を習得する①					
	8	足関節捻挫に対するテーピング(基本のテーピング)技術を習得する②					
	9	足関節捻挫に対するテーピング(基本のテーピング)技術を習得する③					
	10	足関節捻挫に対するテーピング(クローズド・バスケットウィーブ)技術を習得する					
	11	足関節捻挫に対するテーピング(伸縮テープを併用した方法)技術を習得する					
	12	足関節捻挫に対するテーピング(オープン・バスケットウィーブ)技術を習得する					
	13	足関節捻挫に対するテーピング(底屈制限)技術を習得する					
	14	足関節捻挫に対するテーピング(背屈制限)技術を習得する					
	15	足関節捻挫に対するテーピング技術の復習					
	16	アキレス腱のテーピング技術を習得する					
	17	下腿部肉離れ・シンスプリントのテーピング技術を習得する					
	18	大腿部の肉離れ・打撲のテーピング技術を習得する					
	19	股関節の外転・伸展制限のテーピング技術を習得する					
	20	腰部のテーピング技術を習得する					
	21	腸骨稜打撲に対するテーピング技術を習得する					
	22	肋軟関節分離に対するテーピング技術を習得する					
	23	下腿・大腿・股関節・腰部に対するテーピング技術の復習					
	24	膝関節内側側副靭帯損傷に対するテーピング技術を習得する①					
	25	膝関節内側側副靭帯損傷に対するテーピング技術を習得する②					
	26	膝関節外側側副靭帯損傷に対するテーピング技術を習得する①					
	27	膝関節外側側副靭帯損傷に対するテーピング技術を習得する②					
	28	膝関節前十字靭帯損傷に対するテーピング技術を習得する①					
	29	膝関節前十字靭帯損傷に対するテーピング技術を習得する②					
	30	膝関節に対するテーピング技術の復習					

評価方法	授業内で部位毎に実技評価を実施し、受講態度も加える。						
評 価 基 準	新 評 価 基 準 (G P A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。				単 位 認 定	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。					
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
参 考 図 書	書籍名		著者名		発行所		
	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6				日本スポーツ協会		

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	コンディショニング演習 I	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標 コンディショニングの目的を理解し身体的、環境的、心因的因子を理解する。必要なストレッチングとスポーツマッサージの技術を習得する。							
講 義 内 容	1	コンディショニングの目的・要素・評価法					
	2	トレーニング計画とコンディショニング					
	3	ウォーミングアップ・クーリングダウン意義・目的・方法を理解し、実技を通して体得する					
	4	ストレッチングの意義・目的を理解する					
	5	下肢ストレッチング①					
	6	下肢ストレッチング②					
	7	股関節周辺・腰臀部のストレッチング					
	8	体幹部のストレッチング					
	9	上肢・頸部・頭部ストレッチング					
	10	スポーツマッサージの意義・目的を理解する					
	11	マッサージの基本手技の習得 下肢①					
	12	マッサージの基本手技の習得 下肢②					
	13	マッサージの基本手技の習得 臀部・腰部					
	14	マッサージの基本手技の習得 背部・上肢					
	15	マッサージの基本手技の習得 頸部・頭部					
	16						

評価方法	授業内で部位毎に実技評価を実施し、受講態度も加える。						
評 価 基 準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。					単 位 認 定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。					
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名			発行所		
	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6				日本スポーツ協会		

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	トレーニング演習 I	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標 トレーニングの基本的知識と技術を学び、実技指導ができるようになる。							
講 義 内 容	1	ウォームアップの目的・効果					
	2	ウォームアップの実際					
	3	クーリングダウンの目的・効果					
	4	クーリングダウンの実際					
	5	ウォーキングの特性と効果・時間と強度					
	6	ウォーキングの指導の実際(1)					
	7	ウォーキングの指導の実際(2)					
	8	ウォーキングの指導の実際(3)					
	9	ジョギングの特性と効果・時間と強度					
	10	ジョギングの指導の実際(1)					
	11	ジョギングの指導の実際(2)					
	12	ジョギングの指導の実際(3)					
	13	ウォーキングとジョギングの実施上の注意点					
	14	ジョギングの障害と予防法					
	15	まとめ					

評価方法		課題や受講態度も加え評価する。	
評 価 基 準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単 位 認 定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト6		日本スポーツ協会

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	トレーニング演習Ⅱ	学年	1	単位数	2	コマ数	30
教科目標							
トレーニングの基本的知識と技術を学び、実技指導ができるようになる。							
講 義 内 容	1	体力とは					
	2	体力とは					
	3	トレーニングの進め方					
	4	持続性トレーニングの理解と実践					
	5	インターバルトレーニングの理解と実践					
	6	レペティショントレーニングの理解と実践					
	7	スピードトレーニングの実践					
	8	パワートレーニングの実践					
	9	筋力トレーニングの実践					
	10	筋持久力トレーニングの実践					
	11	全身持久力トレーニングの実践					
	12	運動器のしくみと働き					
	13	呼吸循環器系の働きとエネルギー供給					
	14	スポーツバイオメカニクスの基礎					
	15	トレーニングの原理・原則理論と方法					
	16	トレーニング目標の設定					
	17	トレーニングプログラムの設計					
	18	スピードトレーニングのプログラム作成					
	19	スピードトレーニングの実践					
	20	パワートレーニングのプログラム作成					
	21	パワートレーニングの実践					
	22	筋力トレーニングのプログラム作成					
	23	筋力トレーニングの実践					
	24	持久力トレーニングのプログラム作成					
	25	持久力トレーニングの実践					
	26	身体測定と評価					
	27	バッテリーテスト					
	28	測定結果の活用の際の留意点					
	29	スキルとは					
	30	スキルの獲得過程の特性と留意点					

評価方法	課題や受講態度も加え評価する。		
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅱ		日本スポーツ協会
	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅱ		日本スポーツ協会

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	現場実習 I	学年	1	単位数	2	コマ数	45
教科目標 見学、検査・測定、アスリハの実習を行い、スポーツ現場でプログラム指導ができるようになる。							
講 義 内 容	1	見学実習①					
	2	見学実習②					
	3	見学実習③					
	4	見学実習④					
	5	見学実習⑤					
	6	見学実習⑥					
	7	見学実習⑦					
	8	見学実習⑧					
	9	見学実習⑨					
	10	見学実習⑩					
	11	見学実習⑪					
	12	見学実習⑫					
	13	見学実習⑬					
	14	見学実習⑭					
	15	見学実習⑮					
	16	検査・測定と評価実習①					
	17	検査・測定と評価実習②					
	18	検査・測定と評価実習③					
	19	検査・測定と評価実習④					
	20	検査・測定と評価実習⑤					
	21	検査・測定と評価実習⑥					
	22	検査・測定と評価実習⑦					
	23	検査・測定と評価実習⑧					
	24	検査・測定と評価実習⑨					
	25	検査・測定と評価実習⑩					
	26	検査・測定と評価実習⑪					
	27	検査・測定と評価実習⑫					
	28	検査・測定と評価実習⑬					
	29	検査・測定と評価実習⑭					
	30	検査・測定と評価実習⑮					
	31	スポーツ現場実習①					
	32	スポーツ現場実習②					
	33	スポーツ現場実習③					
	34	スポーツ現場実習④					
	35	スポーツ現場実習⑤					
	36	スポーツ現場実習⑥					
	37	スポーツ現場実習⑦					
	38	スポーツ現場実習⑧					
	39	スポーツ現場実習⑨					
	40	スポーツ現場実習⑩					
	41	スポーツ現場実習⑪					
	42	スポーツ現場実習⑫					
	43	スポーツ現場実習⑬					
	44	スポーツ現場実習⑭					
	45	スポーツ現場実習⑮					

評価方法	毎回の実習日誌の提出で評価する。		
評 価 基 準	(G 新 評 P 価 A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	} 単 位 認 定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	水中運動	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標 水中運動の目的と内容を理解し実演能力・指導能力を身につける。クロール・平泳ぎの泳法を学ぶ。							
講 義 内 容	1	水泳・水中運動の特性と効果、水泳・水中運動の安全に対する注意					
	2	水泳実技(クロール)					
	3	水泳実技(クロール)					
	4	水泳実技(クロール)					
	5	水泳(平泳ぎ)					
	6	水泳(平泳ぎ)					
	7	アクアビクス					
	8	アクアビクス					
	9	アクアビクス					
	10	水中ウォーキング					
	11	水中ウォーキング					
	12	水中ウォーキング					
	13	水中レジスタンス運動					
	14	水中レジスタンス運動					
	15	水中レジスタンス運動					

評価方法		課題や受講態度も加え評価する。					
評 価 基 準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。					
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。					
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名			発行所		
	健康運動実践指導者テキスト				健康・体づくり事業財団		

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	生涯スポーツ	学年	1	単位数	2	コマ数	30
教科目標 生涯を通じて行われる自主的・自発的なスポーツを体験し指導方法やトレーニングができるようになる。							
講 義 内 容	1	サッカー理論					
	2	サッカー実技					
	3	ダンス理論					
	4	ダンス実技					
	5	バスケットボール理論					
	6	バスケットボール実技					
	7	サッカー実技					
	8	サッカー実技					
	9	バスケットボール実技					
	10	バスケットボール実技					
	11	野球理論					
	12	野球実技					
	13	バレーボール理論					
	14	バレーボール実技					
	15	バレーボール実技					
	16	バレーボール実技					
	17	ヨガ					
	18	ヨガ					
	19	サッカー実技					
	20	サッカー実技					
	21	スキー理論					
	22	スキー実技					
	23	サッカー実技					
	24	サッカー実技					
	25	野球実技					
	26	野球実技					
	27	ヨガ					
	28	ヨガ					
	29	トレーナー理論					
	30	トレーナー実技					

評価方法	課題や受講態度も加え評価する。		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	単 位 認 定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	トレーナー応用演習 I	学年	1	単位数	2	コマ数	30
-----	-------------	----	---	-----	---	-----	----

教科目標	人体の構造と動きを理解し説明できるようになる。						
------	-------------------------	--	--	--	--	--	--

講 義 内 容	1	運動器系概要説明
	2	骨格系1:脊柱
	3	骨格系2:脊柱
	4	骨格系3:上肢
	5	骨格系4:上肢
	6	骨格系5:下肢
	7	骨格系6:下肢
	8	骨格系7:頭蓋
	9	骨格系8:頭蓋
	10	骨格系9:頭蓋
	11	骨格系10:頭蓋
	12	筋系1:体幹
	13	筋系2:体幹
	14	筋系3:体幹
	15	筋系4:体幹
	16	筋系5:上肢
	17	筋系6:上肢
	18	筋系7:上肢
	19	筋系8:上肢
	20	筋系9:上肢
	21	筋系10:上肢
	22	筋系11:下肢
	23	筋系12:下肢
	24	筋系13:下肢
	25	筋系14:下肢
	26	筋系15:下肢
	27	筋系16:下肢
	28	筋系17:頭・頸部
	29	筋系18:頭・頸部
	30	筋系19:頭・頸部

評価方法	課題や終講時試験で評価する。
------	----------------

評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	} 単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	

参 考 図 書 及 び 教 科 書	書籍名	著者名	発行所

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	トレーナー応用演習Ⅱ	学年	1	単位数	2	コマ数	30
-----	------------	----	---	-----	---	-----	----

教科目標	解剖・生理・スポーツ障害・アスリハ領域及び内科領域、トレーニング科学領域を関連づけて理解する。
------	---

講 義 内 容	1	概要説明
	2	循環器系 1:血管
	3	循環器系 2:血管
	4	循環器系 3:心臓
	5	循環器系 4:心臓
	6	循環器系 5:動・静脈
	7	循環器系 6:動・静脈
	8	循環器系 7:リンパ
	9	呼吸器 1:鼻腔・副鼻腔
	10	呼吸器 2:鼻腔・副鼻腔
	11	呼吸器 3:気管・気管支
	12	呼吸器 4:肺
	13	消化器 1:胃
	14	消化器 2:小腸・大腸
	15	感覚器 1:目
	16	感覚器 2:目
	17	感覚器 3:耳
	18	感覚器 4:耳
	19	解剖基礎 1 (解剖・スポーツ障害・アスリハ領
	20	解剖基礎 2
	21	肩 1
	22	肩 2
	23	肩 3
	24	肩 4
	25	肩 5
	26	肘・前腕 1
	27	肘・前腕 2
	28	肘・前腕 3
	29	手 1
	30	手 2

評価方法	課題や終講時試験で評価する。
------	----------------

評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。	} 単位認定
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。	

参 考 図 書 及 び 教 科 書	書籍名	著者名	発行所

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	情報分析演習 I	学年	1	単位数	2	コマ数	30
教科目標 データアナリストとして情報分析の基礎を学び、ツールを使い知識を深める。 <統計3級>							
講 義 内 容	1	講義概論					
	2	データ分析ワークショップ					
	3	現場実態① ABeam					
	4	統計3級 1					
	5	ツールに慣れよう！！					
	6	ツール実習(加工・分析)					
	7	統計3級 2					
	8	ツール実習1					
	9	ツール実習2					
	10	振り返り(質問対応)					
	11	試験・解説解答					
	12	現場実態②					
	13	統計3級 3					
	14	統計3級 4					
	15	ツール分析					
	16	統計3級 5					
	17	統計3級 6/ Excel実習					
	18	Excel実習					
	19	統計3級 7					
	20	統計3級 8/ Excel実習(ピボット)					
	21	Excel実習(関数)					
	22	統計3級 9					
	23	統計3級 10/ 実データによる実践 1					
	24	実データによる実践 2					
	25	振り返り(質問対応)					
	26	試験・解説解答					
	27	現場実態③					
	28	統計3級試験					
	29	1年間の振り返り					
	30	総評・次年度に向けて					

評価方法	授業内で部位毎に実技評価を実施し、受講態度も加える。		
評 価 基 準	新 G P A 評 価	A(90点以上): 教科目標を高い水準で達成している。	単 位 認 定
		B(80～89点): 教科目標達成において優れている。	
		C(70～79点): 教科目標において一定の水準に達している。	
		D(60～69点): 教科目標において最低限の水準に達している。	
		F(59点以下または不合格): 教科目標を達成することができなかった。	
参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所
	日本統計学会公式認定 統計検定3級対応	日本統計学会	東京図書株式会社

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	競技スポーツ分析演習 I	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標							
人の動きを理解するための力学の基礎を理解する。							
講 義 内 容	1	競技スポーツ分析の概要					
	2	競技スポーツ分析(バスケットボール)1					
	3	競技スポーツ分析(バスケットボール)2					
	4	競技スポーツ分析(バスケットボール)3					
	5	競技スポーツ分析(バスケットボール)4					
	6	競技スポーツ分析(バスケットボール)5					
	7	競技スポーツ分析(バスケットボール)6					
	8	まとめ・プレゼン発表					
	9	競技スポーツ分析(野球)1					
	10	競技スポーツ分析(野球)2					
	11	競技スポーツ分析(野球)3					
	12	競技スポーツ分析(野球)4					
	13	競技スポーツ分析(野球)5					
	14	競技スポーツ分析(野球)6					
	15	まとめ・プレゼン発表					

評価方法	課題や終講時試験で評価する。						
評 価 基 準	新 評 価 A)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。				単 位 認 定	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。					
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所				

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	生涯スポーツ分析 I	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標 生涯スポーツ毎のデータ取得法や分析の考え方を学び、総合的に分析力を身につける。							
講 義 内 容	1	生涯スポーツ分析概要					
	2	生涯スポーツ分析(野球)1					
	3	生涯スポーツ分析(野球)2					
	4	データ分析・プレゼン準備					
	5	プレゼン					
	6	生涯スポーツ分析(サッカー)1					
	7	生涯スポーツ分析(サッカー)2					
	8	データ分析・プレゼン準備					
	9	プレゼン					
	10	生涯スポーツ分析(バスケットボール)1					
	11	生涯スポーツ分析(バスケットボール)2					
	12	データ分析・プレゼン準備					
	13	プレゼン					
	14	振り返り・まとめ					
	15	発表					

評価方法		課題や終講時試験で評価する。		
評 価 基 準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所	

単位 認定

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	ジュニアスポーツ分析 I	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標							
年代に合わせたスポーツ毎のデータ取得法や分析の考え方を学び、総合的に分析力を身につける。							
講 義 内 容	1	生涯スポーツ分析概要					
	2	生涯スポーツ分析(野球)1					
	3	生涯スポーツ分析(野球)2					
	4	データ分析・プレゼン準備					
	5	プレゼン					
	6	生涯スポーツ分析(サッカー)1					
	7	生涯スポーツ分析(サッカー)2					
	8	データ分析・プレゼン準備					
	9	プレゼン					
	10	生涯スポーツ分析(バスケットボール)1					
	11	生涯スポーツ分析(バスケットボール)2					
	12	データ分析・プレゼン準備					
	13	プレゼン					
	14	振り返り・まとめ					
	15	発表					

評価方法	課題や終講時試験で評価する。						
評 価 基 準	(G P A) 新 評 価	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。				単 位 認 定	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。					
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所				

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	ボディメイク演習 I	学年	1	単位数	2	コマ数	30
教科目標 ボディメイクトレーナーとして基本的な考え方や動作を学び、テクノロジーを駆使し効率よく結果を表現できるようになる。							
講 義 内 容	1	ボディメイクトレーナー概要					
	2	基本的考え方: 栄養摂取について 1					
	3	基本的考え方: 栄養摂取について 2					
	4	基本的考え方: 栄養摂取について 3					
	5	基本的考え方: 栄養摂取について 4					
	6	基本的考え方: 調理について実習 1					
	7	基本的考え方: 調理について実習 2					
	8	基本的考え方: 理想のスタイルについて 1					
	9	基本的考え方: 理想のスタイルについて 2					
	10	基本的考え方: 理想のスタイルについて 3					
	11	基本的考え方: 理想のスタイルについて 4					
	12	基本的考え方: 理想のスタイルについて 5					
	13	基本的考え方: 理想のスタイルについて 6					
	14	基本的考え方: 理想のスタイルについて 7					
	15	基本的考え方: 理想のスタイルについて 8					
	16	グループワーク・発表準備					
	17	発表					
	18	ボディメイクの考え方: トレーニング 1					
	19	ボディメイクの考え方: トレーニング 2					
	20	ボディメイクの考え方: トレーニング 3					
	21	ボディメイクの考え方: トレーニング 4					
	22	ボディメイクの考え方: トレーニング 5					
	23	ボディメイクの考え方: トレーニング 6					
	24	ボディメイクの考え方: トレーニング 7					
	25	ボディメイクの考え方: トレーニング 8					
	26	ボディメイクの考え方: トレーニング 9					
	27	ボディメイクの考え方: トレーニング 10					
	28	ボディメイクの考え方: トレーニング 11					
	29	グループワーク・発表準備					
	30	発表					

評価方法	課題や終講時試験で評価する。						
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上): 教科目標を高い水準で達成している。				単 位 認 定	
		B(80～89点): 教科目標達成において優れている。					
		C(70～79点): 教科目標において一定の水準に達している。					
		D(60～69点): 教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格): 教科目標を達成することができなかった。					
参 考 図 書	教科書及び	書籍名	著者名	発行所			

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	ボディメイク演習Ⅱ	学年	2	単位数	2	コマ数	30
教科目標							
ボディメイクトレーナーとして基本的な考え方や動作を応用し、テクノロジーを駆使し効率よく結果を表現出来、わかりやすく伝えていけるようになる。							
講 義 内 容	1	ボディメイクトレーナー概要					
	2	応用的考え方:栄養摂取について 1					
	3	応用的考え方:栄養摂取について 2					
	4	応用的考え方:栄養摂取について 3					
	5	応用的考え方:栄養摂取について 4					
	6	応用的考え方:調理について実習 1					
	7	応用的考え方:調理について実習 2					
	8	応用的考え方:理想のスタイルについて 1					
	9	応用的考え方:理想のスタイルについて 2					
	10	応用的考え方:理想のスタイルについて 3					
	11	応用的考え方:理想のスタイルについて 4					
	12	応用的考え方:理想のスタイルについて 5					
	13	応用的考え方:理想のスタイルについて 6					
	14	応用的考え方:理想のスタイルについて 7					
	15	応用的考え方:理想のスタイルについて 8					
	16	グループワーク・発表準備					
	17	発表					
	18	ボディメイクの考え方の応用:トレーニング 1					
	19	ボディメイクの考え方の応用:トレーニング 2					
	20	ボディメイクの考え方の応用:トレーニング 3					
	21	ボディメイクの考え方の応用:トレーニング 4					
	22	ボディメイクの考え方の応用:トレーニング 5					
	23	ボディメイクの考え方の応用:トレーニング 6					
	24	ボディメイクの考え方の応用:トレーニング 7					
	25	ボディメイクの考え方の応用:トレーニング 8					
	26	ボディメイクの考え方の応用:トレーニング 9					
	27	ボディメイクの考え方の応用:トレーニング 10					
	28	ボディメイクの考え方の応用:トレーニング 11					
	29	グループワーク・発表準備					
	30	発表					

評価方法	課題や受講態度も加え評価する。						
評 価 基 準	新 評 価 A P G)	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。				単位 認定	
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。				単位認	
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
教 科 書 及 参 考 図 書	書籍名	著者名	発行所				

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	ボディメイクトレーニング I	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標 ボディメイクトレーナーとして基本的な考え方や動作を学び、テクノロジーを駆使し効率よく結果を表現できるようになる。							
講 義 内 容	1	ボディメイクトレーニングの概要					
	2	基礎トレーニング:正しいフォームについて 1					
	3	基礎トレーニング:正しいフォームについて 2					
	4	基礎トレーニング:効果的なエクササイズ 1					
	5	基礎トレーニング:効果的なエクササイズ 2					
	6	基礎トレーニング:効果的なエクササイズ 3					
	7	基礎トレーニング:効果的なエクササイズ 4					
	8	基礎トレーニング:効果的なエクササイズ 5					
	9	基礎トレーニング:効果的なエクササイズ 6					
	10	基礎トレーニング:効果的なエクササイズ 7					
	11	基礎トレーニング:効果的なエクササイズ 8					
	12	基礎トレーニング:効果的なエクササイズ 9					
	13	基礎トレーニング:効果的なエクササイズ 10					
	14	基礎トレーニング:効果的なエクササイズ 11					
	15	まとめ					

評価方法	課題や終講時試験で評価する。						
評 価 基 準	新 評 価 A	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。				単 位 認 定	
		B(80~89点):教科目標達成において優れている。					
		C(70~79点):教科目標において一定の水準に達している。					
		D(60~69点):教科目標において最低限の水準に達している。					
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。					
教 科 書 及 び 参 考 図 書	書籍名	著者名			発行所		

＜2021年度 スポーツトレーナー学科 シラバス＞

科目名	ボディメイクプランニング演習 I	学年	1	単位数	1	コマ数	15
教科目標							
ボディメイクトレーナーとして総合的メニューをプランニングできるようになる。							
講 義 内 容	1	ボディメイクトレーナーの総合的メニューのプランニングについて					
	2	基本的プランニング 1					
	3	基本的プランニング 2					
	4	基本的プランニング 3					
	5	基本的プランニング 4					
	6	グループワーク・まとめ					
	7	発表					
	8	プランニングメニューの実践 1					
	9	プランニングメニューの実践 2					
	10	プランニングメニューの実践 3					
	11	プランニングメニューの実践 4					
	12	グループワーク・まとめ					
	13	発表・実践 1					
	14	発表・実践 2					
	15	まとめ					

評価方法		課題や終講時試験で評価する。		
評 価 基 準	新 評 価 （ G P A ）	A(90点以上):教科目標を高い水準で達成している。		
		B(80～89点):教科目標達成において優れている。		
		C(70～79点):教科目標において一定の水準に達している。		
		D(60～69点):教科目標において最低限の水準に達している。		
		F(59点以下または不合格):教科目標を達成することができなかった。		
参 考 図 書 及 び 教 科 書	書籍名	著者名	発行所	